

第1 平成13年度当初予算の概要

予算はどのような考えで編成したのですか。 予算編成の基本方針

厳しい財政環境の中での新世紀の基盤づくり予算

平成13年度当初予算は、税収に未だ確かな回復の兆しが見られない中、公債費をはじめとする義務的経費の増嵩により、厳しい財政環境が続いていますが、現在の経済情勢を考慮し、引き続き地域経済の活性化に向けた施策を積極的に推進する一方、新たな世紀を迎えるにあたり、新たな視点で事務事業の抜本的な見直しや部局横断的な取り組みを行い、真に必要な事業への重点配分に努め、新世紀においても石川の「個性」を発信しながら、県民生活の質の向上を目指して、個性と交流、安心のふるさとづくりに取り組むことといたしました。

どのような事業が盛り込まれているのですか。 県政の重要施策

I 地域活力の創出に向けて

新世紀における良質な社会資本の整備

能登空港（平成15年7月開港）を核とした能登新時代の創造

- ・能登空港ターミナルビルの建設着手（今秋）
- ・奥能登行政センター（仮称）の整備
- ・航空学園の整備促進
- ・加工用ぶどう産地の形成促進

小松空港の国際化推進

- ・ソウル便増便（4月から週3便化）
- ・カーゴルックス航空貨物便（週5便化枠の確保）
- ・滑走路かさ上げ調査

北陸新幹線の建設促進

多重な道路網の整備

金沢外環状道路海側幹線・山側幹線、月浦白尾IC連絡道路（七塚宇ノ気線）、珠洲道路、輪島道路、能登有料道路ゆずりレーンの設置、南加賀道路など

都市機能の整備

- ・新県庁舎の建設
- ・小松駅付近連続立体交差事業の促進および小松駅周辺文化施設の整備
- ・輪島駅周辺の整備

将来を見据えた産業構造への転換

経営革新・ベンチャー企業に対する支援強化

- ・ベンチャー育成投資事業有限責任組合の設立支援
- ・民間ITインキュベータに入居するSOHOに対する支援
- ・各研究開発段階に応じた技術開発の支援
- ・商業ベンチャーの育成（商店街コミュニティカレッジ、商業ベンチャービジネス講座、電子マネー等研究会の開催等）

地場産業の高度化支援

- ・消費者ニーズに対応したものづくりへの支援（繊維企業・小売業等が一体となった新商品開発など）
- ・イタリアコレクションインいしかわ（仮称）の開催
- ・伝統工芸海外展示事業に対する支援
- ・伝統産業工芸館での新たな暮らしの提案

温泉地におけるまちづくりへの支援



能登空港ターミナルビルの完成イメージ図

II 県民生活の質の向上を支える基盤づくり

環境配慮型社会への移行

地域ぐるみ・企業ぐるみの環境活動の推進

- ・いしかわグリーンプラン（環境にやさしい石川創造計画）の推進
- ・エコイベントシステムの導入
- ・学校版環境活動実践プランの策定

リサイクル型社会のシステムづくり

- ・ゼロエミッション行動計画の策定

能登地域RDF化計画の推進